

青森県特別支援学校総合スポーツ大会  
バレーボール競技実施に係る感染症対策ガイドライン

青森県特別支援学校スポーツ連盟  
バレーボール専門部

本専門部は、「青森県特別支援学校総合スポーツ大会感染症対策ガイドライン」をもとに、以下に留意し、来場者の安全と感染拡大防止に努める。

< 競技全般に関すること >

本線文部で設定する対策レベルをレベル1、レベル2、レベル3と設定し、大会当日の感染状況に応じたレベルの感染対策に努める。

**レベル1**

- ①来場する全ての方に「体調管理チェックシート」の提出をお願いする。  
※提出されたシートは連盟事務局が適切に管理し、大会終了14日後に廃棄する。
- ②全ての来場者にマスクの着用をお願いする。  
※参加者については、競技中の未着用を可とする。
- ③来場者にはこまめに手洗い・手指消毒することをお願いする。
- ④常に「ソーシャルディスタンスの確保」と「3密」を意識し、行動する。
- ⑤開会式、閉会式は簡素化し、密集・密接を避けて実施する。
- ⑥必要最小限の人数（競技役員、審判員）で規模を縮小して競技運営を行う。
- ⑦試合前後の両チームの握手は行わない。

**レベル2**

- ①～⑦に加え、
- ⑧選手が直接触れるボールは複数個用意し、1プレーごとに競技役員がボールの消毒を行う。  
サーブを打つときは、消毒済みのボールが入ったカゴから選手が自らボールをとり、準備をする。
- ⑨コートチェンジは行わない。

**レベル3**

- ①～⑨に加え、
- ⑩3密を避けるために、「監督会議」は行わず、事前に留意事項等を記載したペーパー等を配布し、周知する。
- ⑪審判員は、主審と副審、記録、得点のみとする。（ラインズマンなし）

< 参加者・競技役員・ボランティアに関すること >

- ①試合開始時、終了後は競技役員（係員）の指示で移動する。
- ②会場に持ち込む用具（練習球・トローリーなど）は、各チームで使用前後に必ず消毒を行う。
- ③試合終了後は、競技役員が使用した物品やベンチ等の消毒を行う。
- ④会場となるメインアリーナCコート入口・出口それぞれ1か所に消毒ポンプを設置し、コート入退場時には全ての方が手指消毒を行う。
- ⑤試合への出場選手以外は、チーム関係者全員がマスクを着用する。また、自身の感染リスク

や他の選手に配慮してコート内の選手がマスクを着用しても問題はない。

- ⑥選手と対面する可能性のある審判員には、必要に応じて専門部が用意するフェイスシールドの着用をお願いする。
- ⑦競技中の選手同士のハイタッチはしない。
- ⑧タオルや飲料ボトルの共有はしない。
- ⑨競技中の大声により指示や応援はしない。また、ネット際などで、相手に向けた状態での発声は控える。
- ⑩試合前などの円陣やベンチでの集合時においてもできるだけ密集・接触を避ける。
- ⑪チームベンチは身体的距離が確保できるよう1席分空けて座る。
- ⑫ウォームアップエリアでも密に気をつけて私語は慎む。
- ⑬体調不良等があった場合には、必ずバレーボール競技本部に報告する。
- ⑭ゴミの廃棄については原則持ち帰りとし、鼻水や唾液等が付いたゴミはビニール袋に入れて密閉して縛る。ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用する。

#### <待機場所に関すること>

- ①待機場所はメインアリーナ2階の観客席とし、各校とも事務局及び専門部が指定したベンチを使用する。
- ②2階待機場所から移動する際は、各校が責任をもって使用したベンチの消毒を行う。
- ③コートへの入退場は、専門部が指定したルートを使用する。
- ④選手の着替えは、男女それぞれのロッカー室にて各校の監督立ち会いのもと行う。他競技の選手を含め、1度に利用できる人数は10人程度とし、間隔を十分に確保する。また、入退室前後の手洗い・手指消毒することをお願いする。

#### <その他>

- ①不測の事態が発生した場合は、連盟事務局と連携し、本専門部長の指示のもと、来場者の安全と感染拡大防止を最優先に対応する。
- ②大会参加後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、チーム責任者は学校長及び、専門部委員長に速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。
- ③会場内の動線は無しとなりました。